

たかお治久^{はる ひさ} 後援会 会報 NO.13

■発行日／平成26年3月 ■編集発行／鷹尾治久後援会 ■後援会連絡所／カネカ労組高砂支部内

いつも大変お世話になっております。高砂市議会議員のたかお治久です。

ご多用とは思いますが、このページだけでもお読みください。

宜しく願い致します。

1.私の伝えたいこと(12月定例議会での一般質問)

市民ニーズにあった行政運営を!!

(要点) 高砂市の図書館休館日数は月平均5.5日。近隣市町はいずれも月平均2日。何故これ程違うの?いくら古くて小さな図書館でも、もう少し市民に対し図書に接する機会を増やすべきではありませんか?

もっと市民ニーズにあった行政運営をして頂きたい。

⇒改善を期待

(解説) 12月定例議会【一般質問】の場にて「市民ニーズにあった行政運営になっているか」の視点から、具体的には、図書館の休日数と子育て支援センターの開館曜日について、近隣市町(加古川市、稲美町、播磨町)の現状と比較し、仕事のスタンスを確認の上、提言を行いました。

地方分権化が進行するこれからの時代、自治体毎に公共施設のあり方についても大いに差が生じてくることは間違いありません。そんな中、魅力ある施設として市民の皆様喜んで頂ける存在感を示していくには、立派な施設であることよりもそこに宿る心にどれ程「みなさんに喜んで頂こう」との思いが込められているかが非常に重要なポイントになると思います。

その心は、どれ程に「市民ニーズにあった行政運営になっているか」であり、更には先を見据えたシーズをも取り込んだ運営を行っていくことが求められます。

今回の一般質問では、図書館の休日数や子育て支援センターにおいて近隣自治体と比べ明らかに劣ること

より「働く側の事情が優先されていないか」を確認。色んな事情があるのかも知れませんが、今後改善されることを期待したいと思います。

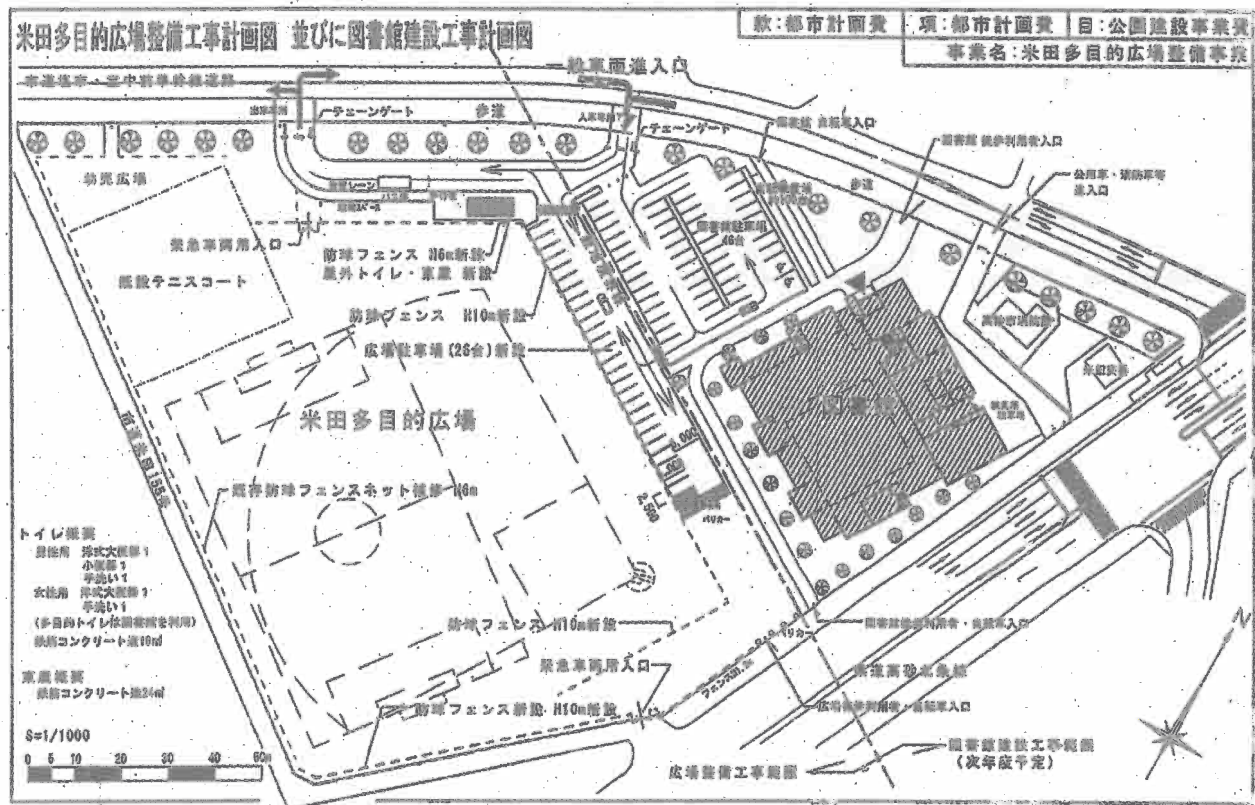


2.高砂市の変化(米田多目的広場/高砂小中/その他)

現在の高砂市は治水対策を軸に、他にも様々な工事や取組を行っています。今回はその中でも皆さんに身近な公共施設での変化を取り上げ、ご報告したいと思います。

1) 米田多目的広場

現在、既に工事が行われているこの広場、議会では図面(下)が配布され平成28年度開館の図書館を含んだ見取り図が示されていますので、ご報告させていただきます。



2) 高砂小学校・中学校の一貫教育(小中一貫教育に伴う変化)

平成26年度より高砂市では初の小中一貫教育が行われます。様々な行政資料より、実際に一貫教育だからこそ実現できそうな項目を私なりに抜粋しましたのでご覧ください。

小中一貫教育 だからこそできること

- ① 中学校給食の先行実施(平成26年4月開始)
- ② 異年齢での体験活動(運動会や遠足を合同で実施)
- ③ 小中教員相互で授業交流を行い、専門的且つきめ細かな指導の実施
- ④ 外国語指導助手(ALT:assistant language teacher) 中学校教員との複数で指導を行い英語により親しむ活動を実施
- ⑤ 9年間の「食育計画」を策定し給食を中心とした指導を保護者等と連携して実施



～これに伴い、両校の間を東西にはしる道路は校庭敷地として桜開花(4月頃)と万灯祭(9月中旬)の時期を除き、通行できなくなります～

3) 公共施設の指定管理（いずれも現在の団体が継続）

利用者ニーズの発信で、よりよい公共施設にしていこう！

以下の公共施設において、今後5年間（平成26年4月～）の管理運営を行う団体が決まりました。
全て従来の継続で、運営側の事情に流され、マンネリ化する可能性もあります。

指定管理料という皆様の税金を使っての管理運営であり、是非とも、利用者、市民のニーズを積極的に発信頂き、より良い公共施設にしていこうではありませんか。

施設名 (H26年指定管理料)	団体名	市民ニーズへの対応
文化会館 (38,581千円)	たかさご文化創造 プロジェクト 代表構成団体国際 ライフパートナー(株)	行政・市民からの要求を言語化・数値化し定期的にニーズとの整合性を点検すべくモニタリングを行う。子ども向けに座席マットを無料貸出
福祉保健センター (34,154千円)	同上	個人利用可能な音楽練習室の設置予定（最終未決定）
向島多目的球場 (19,290千円)	シンコースポーツ(株) 大阪支店	テニスラケット・ボールの無料貸出。ミストゾーン、医務スペースの設置
市民プール (12,750千円)	同上	ラッシュガード、度付ゴーグル、ドライヤーの無料貸出。子供が一人で入れる大型ビニールプールの設置
総合運動公園体育施設 (96,426千円)	(公益財団)高砂市施設 利用振興財団	H24年4月～公益財団法人として再スタートし以下の事を掲げている。
生石体育センター (1,880千円)	同上	①質の高い受付・対応
高砂市総合運動公園 (7,247千円)	同上	②利用者増の広報
向島公園他74公園 (72,005千円)	同上	③安全・安心のサービス提供
市ノ池公園キャンプ場 (3,479千円)	同上	④市民の声の反映
		⑤利用者満足のステップ
		⑥利便性の向上
		乞うご期待！

4) その他

- ①平成26年度中に仮称) 高砂市ユーアイ福祉交流センターが高砂町松波町に完成予定。
- ②平成28年度には新図書館が米田町米田新に完成予定。また曾根天満宮敷地内にある教育センター（高齢者大学や陶芸教室等）は生石宿泊センターに移る予定。
- ③平成34年度には2市2町（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）が共同で進めている「広域ごみ処理施設」が高砂市梅井地区に完成予定。

3.トピック～武雄市立図書館の行政視察を終えて～

1月29日～30日に佐賀県武雄市に行政視察に出かけました。目的は「TSUTAYAが運営する図書館」として日本中が注目する運営の肝を直接見聞することです。

実際にこの運営を決定した樋渡武雄市長から直接説明を聞き、年中無休、開館時間延長、パソコン環境充実、販売図書と貸出図書の同空間陳列、スターバックスコーヒー併設による空間演出等々、従来の図書館からの脱皮、市民ニーズの反映と実行力に、聞くこと、見ることでまさに政治の影響力を実感した行政視察でありました。

特筆すべきは、この図書館が今回新建築された建物ではなく従来から存在したハコモノであり、そこへアイデアを注入することで、見事変革を実現させたことです。

高砂市には平成28年度に新図書館が開館します。どれ程までに市民ニーズを捉えた施設に仕上げることが出来るのか、ニーズを発信するのはいつか？

少し遅いかもしれませんが「今でしょ！」



[最高の空間となっている武雄市立図書館]

4.～オリンピックを見て～

オリンピックよ、感動をありがとう!!

～土台をつくってくれた先人に感謝～

ソチオリンピックの真剣勝負に感動すると共に、日本には、本当に素晴らしい若者たちが沢山いる、ということ再認識させられました。あの舞台に立っているのは世界でもほんの一握り、そしてその中で上位に食い込むことは想像も出来ない程の努力の積み重ねであることは間違いないと思います。

何不自由のない現代の日本において、そこまで自分を追い込み、諦めることなく努力し続け、自らを研ぎ澄ますことの出来る若者が沢山いることに非常に強い感動を覚えました。

そして、この若者たちが世界で飛躍を続けることが出来る土台を築いたのは間違いなくこれまで日本を支えて下さった先人の方々であります。

先人のためにもこれからの日本を背負う若者たちのためにも、みんなが「生きていて良かった」と実感できる仕組みをつくっていくのが政治の役割である様に思います。

日本はこれから少子高齢化、生産年齢人口の減少を背景に、社会保障費の増大やインフラの老朽化等々、様々な課題を抱えていますが、課題と正面から向き合い、次代につながる持続可能な施策の実現をめざし、貴重な日々を過ごし、努力を重ねたいと思います。



ブログ「たかお治久の活動報告」
に日々の出来事を掲載させて頂いております。
宜しくお願い致します。



< 鷹尾治久後援会役員 >

会長: 渡邊登 副会長: 荒田修、北野光昭、西本裕行、松谷敏道 幹事: 畑中隆禎 会計: 谷村英雄 監査: 金森和之

平成26年2月4日の役員会にて、役員交代しました。今後とも宜しくお願い致します。

日常お困りの市政相談は、お気軽にお電話ください。連絡所 / TEL.079-445-2395 (カネカ労働組合高砂支部内)